

## 渡辺敏雄博士記念号の発行に際して

渡辺敏雄教授は、2024年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることになりました。渡辺教授は1999年4月に関西学院大学商学部教授として就任され、爾来25年の間、商学部および商学研究科の研究、教育、後進の育成ならびに行政に多大な貢献をされてこられました。

渡辺敏雄教授は、1974年3月に三重県立上の高等学校をご卒業になり、同年4月に一橋大学商学部に入學、1978年3月に同学部を卒業されました。1978年4月に同大学商学研究科修士課程に、1980年4月には同博士課程へと進学され、1983年3月には同大学院商学研究科博士課程を単位取得退學され、同年4月より香川大学経済学部専任講師に、翌1984年6月より助教授に、1996年3月には教授になりました。1999年4月には教授として関西学院大学商学部に着任されました。商学部では、経営管理論、現代経営管理等の講義を担当されました。商学部における行政面では、2002年4月から2004年3月まで商学研究科教務学生副主任を、201年4月から2012年3月まで商学部学生主任を歴任されました。また、論究委員会では長くコンビナーをされ、「商学論究」の発刊等に、人事委員会でもコンビナーとして商学部教員の採用、昇任等に尽力されました。

学会活動では、1980年より日本経営学会、1996年より経営学史学会、2000年より日本会計研究学会に所属されています。日本経営学

会では、2016年9月～2019年9月まで理事として、2019年9月～2022年9月まで常任理事として、また経営学史学会では2008年5月～2011年5月まで理事として、2017年5月～2021年5月まで副理事長として学会においても多大な貢献をされてこられました。

渡辺敏雄教授のご専門は経営管理論であり、2002年10月に、ご著書『管理論の基本的構造—論理・観点・体系— [改訂版]』（税務経理協会2000年11月）により関西学院大学から博士（商学）の学位を授与されておられます。渡辺敏雄教授は企業の管理活動が浸透した管理社会ないし企業社会の特質に強い関心を持たれ研究を続けられ、4冊の単著、39本の学術論文を出されておられます。

先生は研究・教育・行政・社会貢献に対して常に強い熱意をもって取り組んでこられました。静かな表情に隠れた強い意志と優れた分析能力は研究者のみならず学生にも大きな影響を与えてきました。

渡辺敏雄教授のご退職にあたり、商学部の教育、研究、行政に対する多大なご貢献に衷心より感謝の意を表し、ここに『商学論究』の記念号を発刊できますことは大きな喜びであります。最後になりましたが、この記念号にご執筆頂いた先生方、ならびに編集に携わって頂いた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2024年3月

商学部長 広瀬憲三